

地震などにより災害が起こったときのために、日ごろから家族でどのようなことについて話し合っておけばよいのでしょうか。

災害が起こったときに備えて、日ごろから家族でどのようなことを話し合っておけばよいのか考えてみましょう。

地いきの避難場所や避難所を確かめておこう。

家族の役わり分たんを決めておこう。

おたがいの連らく方法を決めておこう。

れんらく先
父 000-XXXX-XXXX
母 000-XXXX-XXXX
自たく 0000-00-00

避難場所

非常持ち出袋

家具や本だながたおれないようにしておこう。

非常持ち出し袋をじゅんびしておこう。



非常持ち出し袋には、どのような物を入れておくといいのでしょうか？



地震などが起こった場合、家族があわてず行動できるように、避難場所やおたがいの連らく方法などについて、家族で話し合っておきましょう。

地震などが起こった場合、家族があわてず行動できるように、避難場所やおたがいの連らく方法などについて、家族で話し合っておきましょう。

マイ・タイムライン

作成日： 年 月 日

ステップ1: 家のじょうきょうをかくにんしよう

【住んでいる地いきは?】
 しん水想定区いき 土砂災害けいかい区いき
 【住んでいる場所のしん水想定は?】
 原いん() しん水の深さ(m)

ステップ2: ひなん先・ひなんけいろを決めよう

【こほ1】
 ひなんとちゆうで注意する場所は?
 歩いて約 分

【こほ2】
 歩いて約 分

家族の連らく先/きんきゆう連らく先

電話 ()

電話 ()

けいかいレベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
気象じょうきょう (例)	大雨の数日から約1日前	大雨の半日~数時間前	大雨の数時間~2時間前	数十年に一度の大雨	
ひなんじょうほうなど	自主ひなんなど	高れい者等ひなん	ひなんしじ		
気象けいほう	早期注意じょうほう(けいほう報のかのうせい)	大雨注意ほう・こほ水注意ほう	大雨けいほう・こほ水けいほう	土砂災害けいかいじょうほう	
災害じょうほうなど		高潮注意ほう	高潮特別けいほう	高潮けいほう/高潮特別けいほう	
	時間がかかるとすましておこう	はんらん注意じょうほう	はんらんけいかいじょうほう	はんらんきけんじょうほう	
		いつでもひなんできるようにしよう	自主的にひなんしよう	きけんな場所からすくにひなん	

ステップ4: 各けいかいレベルの行動を書きこもう

ステップ3: ひなんのタイミングを決めよう

命のきけん、すくに安全をかくほ

家族の命を災害から守るためには、日ごろから防災について家族で話し合っておくことが大切です。

第3章 自分の身は自分で守る